

長崎県長崎市施工事例 河床掘削工(残土処理)



発注者 : 長崎県長崎土木事務所河川防災課(中島川整備班)

工事名 : 中島川広域基幹河川改修工事(河床掘削工)

工期 : 平成18年2月10日 ~ 平成18年 9月27日

中性固化材の採用経緯

長崎市の中心部を流れる中島川の河床掘削において、含水比の高い掘削土をそのまま運搬することが公衆衛生上問題があり、天日乾燥するヤードも無く、固化材による脱水が計画された。

当初、高分子ポリマーによる脱水を予定されていたが、廃石膏ボードをリサイクルした中性固化材が隣接する諫早市内で生産されている情報を得たので、中性固化材の品質、掘削土と混合した後の性状を確認したうえで、本工事に採用した。

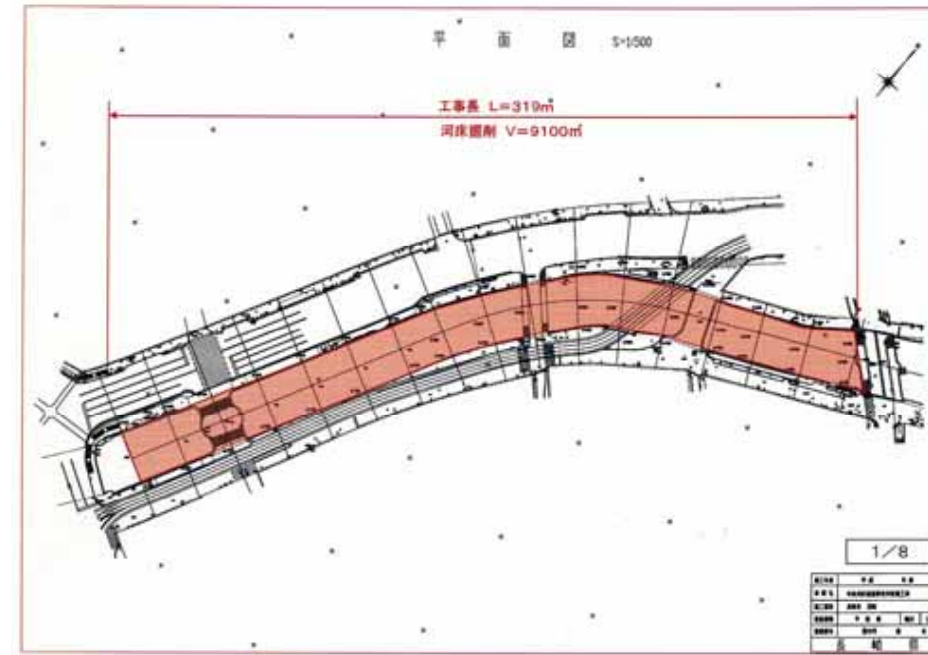
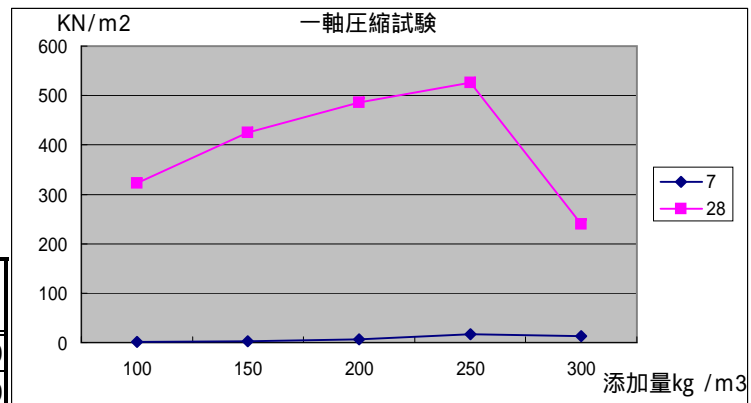
このことにより、コストの縮減、リサイクル製品の販路拡大(資源循環型社会の構築)に寄与した。

現場条件

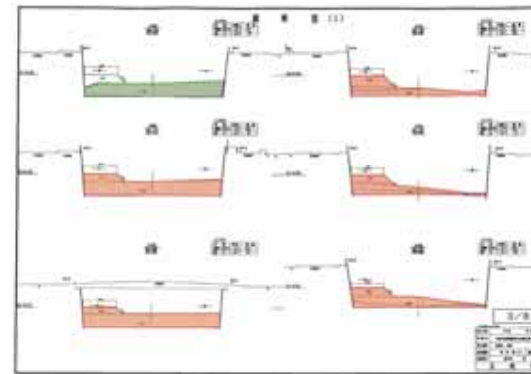
土質: 礫交じりシルト
 自然含水比: 200%
 混合方法 : ピット内で土砂1m³に対してエコパ()を100kg混合

固化材価格比較表

	添加量 kg/m ³	添加価格 円/m ³	単価 円/t
エコパ	100	1,500	15,000
高分子ポリマー	3	1,560	52,000



【平面図】



【横断図】

・工事概要

工事長: L = 319.0m
 河川幅: W = 20.0m
 掘削深さ: H = 1.0m
 掘削土量: V = 9,100.0m³



バックホウ攪拌



攪拌30分後積み込み運搬処理